

2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月8日

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5837)3611
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の業績 (2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	2,030	—	30	—	33	—	22	—
2020年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2021年2月期第3四半期	12	78	12	42				
2020年2月期第3四半期	—	—	—	—				

(注) 当社は、2020年2月期第3四半期は連結財務諸表を作成していたため、2020年2月期第3四半期の各項目は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2021年2月期第3四半期	1,423	—	348	—	24.4	
2020年2月期	1,168	—	325	—	27.8	

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 347百万円 2020年2月期 324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,855	25.6	103	50.8	96	58.0	67	669.4	37	82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年2月期3Q	1,970,000株	2020年2月期	1,970,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年2月期3Q	193,667株	2020年2月期	193,667株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年2月期3Q	1,776,333株	2020年2月期3Q	1,776,333株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前年度第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していましたが、四半期財務諸表を作成していませんでしたので、前年同期との対比は記載していません。

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、2020年7月—9月期の四半期別GDP実質成長率が4四半期ぶりにプラスに転じました。新型コロナウイルス感染症により、企業収益は大幅な減少が続いており、雇用情勢は完全失業率が上昇する一方、有効求人倍率が大きく減少しておりますが、個人消費は実質消費支出額が増加に転じております。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業となっております。当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

バイクの買取台数は6,963台（前年同期比2.7%減）、販売台数は6,889台（同1.0%増）となりました。また、業者間オークションの相場は、3月及び4月は低調であったものの、5月以降は大幅に回復したことから、売却単価は前年同期比9.9%増、粗利単価は同12.3%増となりました。また、販売費及び一般管理費は、買取りに係る広告費は前年同期比3.8%増、人件費は同10.7%増となりましたが、その他の費目は金額的には横這いで推移しました。

バイク事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,757百万円、セグメント利益76百万円となりました。

(フィットネス事業)

当社は、2020年1月に子会社を吸収合併したことにより、エニタイムフィットネスFC5店舗、ステップゴルフFC2店舗を運営しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために東京都などからの休業要請を全店舗で受け入れて、4月中旬から5月末日までの期間を休業いたしました。その結果、当事業の売上高は、前年同期に子会社で計上した売上高と比較して大幅に減少しております。

フィットネス事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高260百万円、セグメント損失36百万円となりました。

(その他の事業)

当社は、2020年9月にワタミ株式会社との間で「から揚げの天才」のフランチャイズ契約を締結し、飲食事業を開始し、11月に1店舗をオープンいたしました。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高11百万円、セグメント損失10百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は売上高2,030百万円、営業利益30百万円、経常利益33百万円、四半期純利益22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末において総資産は1,423百万円となり、前事業年度末と比較して255百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの長期借入れ及び社債の発行等で現金及び預金が250百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末において負債は1,075百万円となり、前事業年度末と比較して232百万円増加しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が111百万円、1年内償還予定の社債を含む社債が130百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末において純資産は348百万円となり、前事業年度末と比較して22百万円増加しております。これは、四半期純利益22百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物は795百万円となっております。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は95百万円となりました。主な要因は、得られた資金として、売上債権の減少額24百万円、その他の流動負債の増加額18百万円、減価償却費27百万円の計上及び税引前四半期純利益33百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は53百万円となりました。主な要因は、支出した資金として、有形固定資産の取得による支出22百万円、無形固定資産の取得による支出11百万円、差入保証金の差入による支出21百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は207百万円となりました。主な要因としては、支出した資金としては長期借入金の返済による支出188百万円、短期借入金の返済による支出24百万円、社債の償還による支出20百万円によるものであり、得られた資金としては長期借入れによる収入300百万円、社債の発行による収入144百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月13日に公表いたしました業績予想数値からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,322	801,133
売掛金	68,469	43,752
商品	191,863	195,365
原材料及び貯蔵品	2,506	2,314
前払費用	37,121	39,087
その他	6,668	12,080
流動資産合計	856,952	1,093,734
固定資産		
有形固定資産	152,698	165,433
無形固定資産	11,636	19,267
投資その他の資産	147,010	145,456
固定資産合計	311,346	330,158
資産合計	1,168,299	1,423,892
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,528	7,354
短期借入金	24,998	-
1年内償還予定の社債	40,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	229,180	190,130
未払法人税等	15,385	2,568
賞与引当金	10,091	2,642
その他	84,305	123,120
流動負債合計	413,488	395,816
固定負債		
社債	140,000	240,000
長期借入金	274,167	425,004
その他	14,938	14,669
固定負債合計	429,105	679,673
負債合計	842,593	1,075,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	△100,858	△78,162
自己株式	△73,858	△73,858
株主資本合計	324,706	347,402
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	325,706	348,402
負債純資産合計	1,168,299	1,423,892

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	2,030,086
売上原価	1,038,126
売上総利益	991,959
販売費及び一般管理費	961,757
営業利益	30,201
営業外収益	
受取手数料	2,049
助成金収入	11,686
その他	3,375
営業外収益合計	17,110
営業外費用	
支払利息	6,223
社債利息	1,228
社債発行費	5,863
その他	10
営業外費用合計	13,325
経常利益	33,986
税引前四半期純利益	33,986
法人税、住民税及び事業税	7,474
法人税等調整額	3,815
法人税等合計	11,290
四半期純利益	22,696

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	33,986
減価償却費	27,398
のれん償却額	1,867
株式報酬費用	13,184
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,449
受取利息	△25
助成金収入	△11,686
支払利息	6,223
社債利息	1,228
社債発行費	5,863
売上債権の増減額(△は増加)	24,717
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,310
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,173
その他の流動資産の増減額(△は増加)	603
その他の流動負債の増減額(△は減少)	18,094
その他	2,376
小計	110,897
利息の受取額	33
利息の支払額	△7,848
法人税等の支払額	△19,253
助成金の受取額	11,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,350
有形固定資産の取得による支出	△22,356
有形固定資産の売却による収入	1,040
無形固定資産の取得による支出	△11,806
差入保証金の差入による支出	△21,459
差入保証金の回収による収入	8,786
出資金の払込による支出	△30
その他の支出	△5,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△24,998
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△188,213
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,385
社債の発行による収入	144,136
社債の償還による支出	△20,000
割賦債務の返済による支出	△1,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	207,081
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	249,460
現金及び現金同等物の期首残高	546,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	795,583

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計 (注) 2
	バイク事業	フィットネス 事業		
売上高	1,757,530	260,643	11,913	2,030,086
セグメント利益又は セグメント損失(△)	76,519	△36,025	△10,291	30,201

(注) 1 「その他」の区分には、当事業年度より開始いたしました飲食事業が含まれております。

2 「セグメント利益又はセグメント損失(△)」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

当第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて) 第1四半期会計期間から新型コロナウイルス感染症の感染対応の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。